

代 表 質 疑 発 言 通 告 一 覧 表

令和 8 年 第 1 回 市 議 会 定 例 会

順序	会 派 名	氏 名	答 弁 を 求 め る 者	
1	市 民 連 合	三 反 園 輝 男	市 長	教 育 長
			市 立 病 院 長	関 係 局 長
			選 管 事 務 局 長	

発 言 の 要 旨

<p>1 令和 8 年度 政府 予算 (案) と 本市 当初 予算 (案) 並 び に 財 政 運 営 に つ い て</p> <p>(1) 8 年 度 政 府 予 算 (案) に 対 す る 市 長 の 見 解</p> <p>(2) 政 府 の 予 算 編 成 の 在 り 方 に 対 す る 見 解</p> <p>(3) 本 市 当 初 予 算 (案) に つ い て</p> <p>① 過 去 最 高 の 一 般 会 計 予 算 (案) に 対 す る 感 想、要 因、背 景、市 長 の 思 い</p> <p>② 物 価 高 騰 対 策 に お け る 本 市 の 独 自 性 に 対 す る 感 想</p> <p>③ 市 民 福 祉 手 当 の 減 額 や 寝 た き り 高 齢 者 へ の サ ー ビ ス の 縮 小 等 を 措 置 さ れ た 理 由</p> <p>④ 8 年 度 地 方 税 制 改 正 の 影 響</p> <p>⑤ 市 税 収 入 に お け る 所 得 割、法 人 税 割、固 定 資 産 税 の 状 況</p> <p>⑥ 税 収 見 込 み に お け る 市 域 の 経 済 実 勢、背 景、税 収 構 造 の 特 徴</p> <p>⑦ 国 の 9 年 度 以 降、臨 時 財 政 対 策 債 の 地 方 へ の 対 応 と 財 政 運 営 へ の 影 響</p> <p>⑧ プ ラ イ マ リ ー バ ラ ン ス (基 礎 的 財 政 収 支) の 改 善、財 政 運 営 へ の 対 応 と 影 響、見 通 し</p> <p>2 第 51 回 衆 議 院 議 員 総 選 挙 に つ い て</p> <p>(1) 戦 後 最 短 の 投 票 日 設 定 に 対 す る 評 価</p> <p>(2) ポ ス タ ー 掲 示 場 数 は 過 去 の 選 挙 と 同 様 か</p> <p>(3) 過 去 の 選 挙 に な い 事 態 は あ っ た か</p> <p>(4) 公 正 な 選 挙 が 行 わ れ た と 考 え る か</p> <p>(5) 本 庁 の 期 日 前 投 票 所 に お い て 待 ち 時 間 が 大 幅 に 長 くな っ た 主 な 理 由 と 対 応 及 び 今 後 の 対 策、伊 敷 支 所 の 開 設 期 間 が 異 な っ た 理 由</p> <p>(6) 投 票 率 が 若 干 改 善 さ れ た 内 容 分 析 と 評 価、今 後 の 対 策</p> <p>(7) 選 挙 結 果 を 市 長 は ど の よ う に 捉 え た か</p> <p>3 鹿 児 島 市 D X 推 進 計 画 に お け る 第 五 次 鹿 児 島 市 地 域 情 報 化 計 画 の 状 況 に つ い て</p> <p>(1) 掲 げ ら れ た 4 つ の 基 本 方 針 の 達 成 状 況 と 成 果</p> <p>(2) 基 本 方 針 の 達 成 に 向 け 新 年 度 に 取 り 組 む こ と</p> <p>(3) 市 民 意 識 調 査 に 基 づ く 4 点 の 課 題 は 克 服 で き た か</p> <p>(4) 「書 か な い 窓 口」の 全 庁 的 な 展 開 の 考 え 方</p> <p>(5) 前 期 基 本 計 画 で 見 え た 課 題、後 期 基 本 計 画 に 引 き 継 ぐ べ き 課 題</p> <p>(6) 現 時 点 に お け る 進 捗 状 況 へ の 評 価、後 期 基 本 計 画 で 見 直 す 施 策 は あ る か</p> <p>(7) 業 務 の 効 率 化、働 き 方 改 革 は ど う 進 ん だ か</p>

4 次世代校務DX推進に向けた本市とNTTドコモビジネスによる連携協定について

- (1) 連携協定の取組状況
- (2) 連携協定は次世代校務支援にどう生かされるか、教職員の業務の効率化にどのような形で表われるか
- (3) 児童生徒の自己調整的学びの推進とは何か

5 インターネット差別・誹謗中傷被害者支援条例（仮称）制定事業について

- (1) 本事業提案に至る背景・経緯
- (2) 事業の目的・概要
- (3) 実効性を高めるための取組

6 災害ボランティアセンター設置・運営事業について

- (1) これまでの協定における課題
- (2) 新規事業に至った経過
- (3) 事業効果

7 重度心身障害者等医療費助成について

- (1) 所得制限導入の理由
- (2) 導入時の前提条件と乖離している認識
- (3) 対象者は個人か世帯か
- (4) 制度維持への取組としての一部自己負担制の導入の考え方

8 こどもの未来応援イベント開催事業について

- (1) こどもまんなか社会の実現のために本事業の果たす役割
- (2) 令和7年度事業の実施内容、事業効果及び課題
- (3) 8年度事業にどう生かされるか

9 妊娠・出産包括支援事業について

- (1) 産後ケアについて
 - ① 現状と課題
 - ② 短時間の日帰り型産後ケア制度導入の経緯
 - ③ 日帰り型の利用者負担額とその考え方
 - ④ 拡充による効果
- (2) プレコンセプションケアの啓発について
 - ① これまでの取組と成果
 - ② プレコンサポーター養成講座の概要及び本市の考え方

10 外国人労働者の雇用と本市の在り方について

- (1)本市内の外国人労働者数（アルバイトに従事する留学生を含む）
- (2)外国人労働者に対する国・県との連携
- (3)本市では労働力人口は不足しているか、どの程度不足しているか
- (4)今後5年ごと20年後までの労働力人口の推移
- (5)外国人労働者の推移（3年ごと15年後まで）の見込み
- (6)外国人雇用における課題の分析
- (7)本市内での外国人労働者の問題やトラブルの発生状況
- (8)外国人労働者を受け入れる側の体制の不備に対する見解
- (9)外国人労働者の受け入れ体制整備に対する見解

11 奨学金代理返還支援について

- (1)奨学金代理返還支援制度の市民の認知度と課題
- (2)奨学金代理返還支援制度導入促進補助金の成果と課題
- (3)奨学金代理返還制度を導入している市内事業所数（業種ごとの内訳）
- (4)奨学金代理返還支援補助金導入の考え方
- (5)奨学金代理返還支援補助金の期待される効果
- (6)建設工事等競争入札参加者の格付を定める場合の加点項目にしてはどうか

12 農産物の販路拡大について

- (1)輸出の動向（全国・県内・市内）
- (2)国内・海外への農産物の販路拡大への取組と課題
- (3)付加価値を高めるための取組と課題
- (4)農業従事者の所得向上につながったか、認識と課題
- (5)外国人を含む観光客の志向をどのように捉えているか、その対策と課題
- (6)観光客が求める志向を反映した農業生産への見解

13 多機能複合型スタジアム整備検討事業について

- (1)スタジアムにおける稼げる施設整備は北ふ頭で示されたイメージと県立鴨池庭球場敷地、鹿児島サンロイヤルホテル敷地等でも同じか
- (2)県のスポーツコンベンションセンターとの違い、競合しないか
- (3)候補地決定後の取組とスケジュール

14 かがしまRX補助金について

- (1)かがしまRX補助金の内容と条件
- (2)新規事業を打ち出した背景
- (3)どのような考え方に基づくものか
- (4)10年間で単年度ごとの計画や見直しはあるか
- (5)中心市街地の活性化に向けた事業費の総額、民間への投資効果
- (6)事業によるまちの姿をどう想定しているか
- (7)近隣の他の事業との一体的事業効果をどう図り、中心市街地の最終的な姿を描こうとしているか

15 学校規模適正化・適正配置について

(1) 新年度の学校整備推進課の設置、学校規模適正化・適正配置基本計画（仮称）の策定に向けた検討を踏まえて

- ① 令和7年度の適正化対象校の数とその対応
- ② 適正化に関する地域の声
- ③ これまでの地域の要望による規模適正化に対する当局の認識
- ④ 8年度設置予定の有識者からなる検討委員会の構成及び想定している協議内容
- ⑤ 市域全体を対象とする「学校規模適正化・適正配置基本計画」策定の考え方

(2) 明和校区における義務教育学校設置に係る基本計画について

- ① 基本構想に関する「明和校区における義務教育学校あり方検討委員会」の意見
- ② 基本構想の概要
- ③ 基本計画の概要と策定までのスケジュール

16 交通局のバス事業について

(1) 運転手確保状況

(2) 南国交通（株）との管理の委託終了後の対応について

- ① 委託終了後の対応方針
- ② 委託終了後の影響と今後の対応

(3) 経営計画に基づく今後の取組

17 上下水道事業について

(1) 上水道について

- ① 簡易水道等の給水区域への編入状況と残された課題
- ② 腐食等が心配される水道管路の現状と取替の時期と計画

(2) 公共下水道について

- ① 公共下水道の調査状況及び今後の対策
- ② 浸水対策の現状と課題
- ③ 浸水対策の今後の取組

18 桜島フェリーの24時間運航停止後の状況について

(1) 運航停止中の出航回数（24時間運航停止後）と出航理由

(2) 運航停止中の出航までの所要時間（当初見込みとの比較）

(3) 運航停止中の職員等の待機に要する費用と経営改善効果

(4) 運航停止中の救急車のレスポンスタイム（24時間運航時との比較）

(5) 桜島地域住民の安心感の認識

(6) 一般会計からの繰出しに関する協議経過

19 市立病院の経営改善について

- (1) 資金残高が激減した要因
- (2) 国の診療報酬改定の動きと病院経営改善への影響認識
- (3) 患者の受入状況（市内・県内・県外）過去3年間
- (4) 令和8年度の経営見通し
- (5) 二次医療圏における市立病院が果たす役割と市立病院の位置づけに対する県の認識
- (6) 県からの財政支援に係る協議経過
- (7) 厳しい経営状況改善への病院長の決意

順序	会派名	氏名	答弁を求める者	
			市長 関係局長	教育長
2	自民党市議団	仮屋秀一		

発言の要旨

<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 衆議院議員総選挙に関連して</p> <p>① どのような思いでの応援か</p> <p>② 国への要望一丁目一番地は</p> <p>③ 消費税議論に対する考え</p> <p>(2) 令和8年度予算の力点をおいた政策と予算全般の評価</p> <p>(3) 選ばれるまちについて</p> <p>① 海外からの選ばれるまちの推進に向けた見解</p> <p>② 7年度における政策の評価</p> <p>③ 8年度の特徴的な政策を含めた決意</p> <p>(4) 年度途中における不用額の効率的な執行についての見解</p> <p>(5) 多機能複合型スタジアムに関連して</p> <p>① 今回の候補地選定で決定するのか</p> <p>② 駐車場・交通環境の整備についての考え</p> <p>2 交通政策について</p> <p>(1) 公共交通不便地対策事業について</p> <p>① 公共交通不便地における持続可能な交通手段見直し方針の骨子</p> <p>② 見直し方針を踏まえた地域の事業計画の内容</p> <p>③ 今後の課題とスケジュール</p> <p>(2) 地域公共交通ネットワークの再構築について</p> <p>① 利便増進実施計画の趣旨</p> <p>② 主な業務内容</p> <p>③ 今後の課題とスケジュール</p> <p>(3) 第二次公共交通ビジョン改定を含めた持続可能な公共交通に向けた決意</p> <p>3 本市の桜島火山防災対策について</p> <p>(1) 大規模噴火が想定される際の事前の広域避難について</p> <p>① 広域避難が必要な理由（災害想定、最大の避難者数含む）</p> <p>② これまでの取組（計画策定、出前トークなど）</p> <p>③ 桜島火山避難計画における、県、市町村の役割</p> <p>④ 県との協議状況</p> <p>(2) 桜島火山防災研究所について</p> <p>① 令和7年度の組織体制</p> <p>② 7年度の主な取組</p> <p>③ 京都大学防災研究所との連携協定の内容</p> <p>(3) 火山砂防フォーラムを本市で開催する意義</p>
--

- 4 施行から1年が経過した犯罪被害者等支援条例について
- (1) 犯罪被害者等からの相談件数及び支援金等の申請件数、支給件数、支給金額（令和6年度、7年度）並びに支給に至らなかった主な理由
 - (2) 支援金等制度の運用における留意点
 - (3) 対象外となる被害者・遺族等への対応（フォロー）
 - (4) 本市を含め県内で同様の支援金等制度を実施している自治体
 - (5) 支援金等制度の今後の周知方法
- 5 個人番号カード交付事業について
- (1) 現在のマイナンバーカードの保有率
 - (2) 現在の本庁特設会場の待ち時間
 - (3) 今後、想定される更新需要
 - (4) 新たなマイナンバーカードセンターの概要として開設時期、場所、開設時間、対応する手続
 - (5) 市民への周知・広報
 - (6) 新たなセンターが開設されることで既存の窓口混雑緩和への期待
- 6 おためし移住吉田地域体験プログラム事業・おためし移住桜島地域体験プログラム事業について
- (1) おためし移住見込数
 - (2) 今後の拡充・推進の考え方
- 7 ゼロカーボン推進支援事業について
- (1) 二酸化炭素排出量可視化支援について
 - ① 事業内容
 - ② 支援事業者数と業種
 - ③ 事業者の反応
 - ④ 脱炭素に向けた取組事例
 - ⑤ 今後の課題と対策
 - (2) ゼロカーボン推進支援補助金について
 - ① 省エネルギー設備等の導入支援の内容と実績
 - ② CO₂排出量削減効果
 - ③ 今後の設備等導入に係るCO₂排出量削減の目標値と課題
 - (3) トラックへの太陽光発電システム設置支援について
 - ① 運送業者への周知方法
 - ② 本システム導入に係る初期投資額
 - ③ 本システム導入による事業者のメリット
 - ④ 本システム導入に係るCO₂排出量削減の目標値とCO₂排出量削減効果
 - (4) ゼロカーボンシティかごしま推進への決意
- 8 廃棄物行政について
- (1) ごみ減量の取組について
 - ① 令和4年度から6年度の市民1人1日当たりの家庭ごみの量
 - ② 市民のごみ減量に対する意識
 - ③ 課題

(2) リデュース・リユース・リサイクル（3R）推進事業について

① ごみ出しカレンダーについて

- ア. 8年版の発行部数
- イ. ごみ出しカレンダーの変更内容
- ウ. 規格見直しによるメリット
- エ. 「ミャンマー語」の追加理由とその時期

② ごみ分別アプリ「さんあーる」について

- ア. 「さんあーる」の利用状況
- イ. 「さんあーる」の周知・広報並びに利用者の声

(3) ごみ収集業務（直営・委託）の現状と今後の考え方

9 敬老パスの負担割合見直しについて

- (1) 見直しの経緯
- (2) 交付枚数及び利用実態と分析
- (3) 過去3年間の本市の負担額の推移
- (4) 過去3年間の民間3社、市交通局・船舶局の負担額の推移
- (5) 中核市における本市と類似の敬老パス制度の利用者の負担割合
- (6) 利用者の負担割合を3分の2とした理由
- (7) 敬老パスの目的は担保できると考えるか
- (8) 交通事業者の反応
- (9) 今後のスケジュール
- (10) ほぼ毎日利用されるヘビーユーザーへの対応
- (11) 周知・広報

10 児童相談所設置事業及び児童相談所人材育成事業について

- (1) 総工事費と財源内訳
- (2) 工期
- (3) 人材育成・確保に向けた令和8年度の取組（県への派遣、研修、専門職採用等）

11 ワーク・ライフ・バランスに取り組む事業者支援事業について

- (1) 概要
- (2) 今回追加された項目の内容
- (3) 経済産業省の家事支援サービス福利厚生導入実証事業に対する評価

12 多機能複合型スタジアムに関連して

- (1) 県立鴨池庭球場を隣接する文化公園に移設するに当たっての課題
- (2) 平成30年の県立鴨池庭球場の改修経費
- (3) 文化公園に設置されているモニュメントの取扱い
- (4) 庭球場の移設を含む、県との費用負担協議の状況
- (5) スタジアム候補地選定の判断時期

13 鹿児島市街路樹再生プランについて

- (1) 街路樹に関する市民からの苦情や要望状況
- (2) 街路樹維持管理にかかる予算の状況（過去10年の平均と近年の傾向）、課題
- (3) 街路樹再生プランによる経費削減効果及び削減経費の使途
- (4) 街路樹再生プランが実行されなかった場合の懸念事項
- (5) 街路樹再生プランの主たる目的及び目指すべき姿

14 土砂災害（特別）警戒区域<レッドゾーン・イエローゾーン>指定による影響について

- (1) 区域指定により市街化区域から市街化調整区域へ変更された住宅戸数
- (2) 区域指定によるデメリットと所有者の理解
- (3) 県の対応方針に対する本市の考え
- (4) 本市の対応方針と状況

15 調整池等整備事業について

- (1) 本市における調整池の底版からの漏水による災害、概要
- (2) 議会からの指摘による点検方法の見直し内容
- (3) 新たな点検方法による進捗状況
- (4) 東雲川調整池の点検状況
- (5) 直ちに東雲川調整池の点検を実施すべき

16 市道草刈りボランティアサポート事業について

- (1) 草刈り予算と面積の推移（10年前との比較）、傾向
- (2) 草刈りボランティアサポート事業による効果（面積、費用）
- (3) 事前、事後における手続方法等
- (4) 使用機材の調達方法
- (5) 防じん対策に対する対応（指導、備品購入・貸与）
- (6) 損害保険の概要と保険適用範囲
- (7) 刈り草の回収方法や処分方法
- (8) 草以外のごみの処分対応
- (9) 試行実施の期間

17 消防団の活動について

- (1) 活動の概要
- (2) 見直しの内容と考え方
- (3) 見直しに伴う影響の有無

18 救急需要対策について

- (1) 年間救急出場件数（令和3年、5年、7年）
- (2) 年齢区分別搬送人員とレスポンスタイム及び病院収容時間（7年）
- (3) 救急救命士と救急隊の数
- (4) 救急需要の増加に対する現在の対応状況
- (5) 救急隊の増隊に対する今後の考え方

19 堆肥化製品ペレット化事業とP F A Sについて

- (1) ペレット化事業の内容
- (2) ペレット化製品の価格
- (3) ペレット化事業の今後の取組
- (4) P F A S の検査に至った経緯
- (5) 安全性に対する国の見解
- (6) P F A S に対する今後の取組
- (7) サツマソイルの安全性の周知・広報

20 桜島学校について

- (1) 教育方針について
 - ① 義務教育学校の制度内容と特色
 - ② 桜島特有の特色ある教育内容
 - ③ 桜島学園との連携
 - ④ 開校時の見込み児童生徒数と今後想定する児童生徒数
- (2) スクールバスの運用について
 - ① 運行計画
 - ② 乗降車場設置に関する考え
 - ③ 乗車できなかった場合の対応
 - ④ 今後の課題と対策
- (3) 地域との連携について
 - ① 学校施設の地域住民への開放の考え
 - ② 地域コミュニティ協議会の考え方
 - ③ 教職員と地域との関わり方
 - ④ 今後の課題と対策

21 市立3高等学校について

- (1) 昨年度と今年度の学力検査の最終倍率並びに学科等についての現状認識
- (2) 鹿児島女子高等学校における学科再編、また鹿児島商業高等学校の学科再編並びに男女共学化に対する評価
- (3) 鹿児島玉龍高等学校の学業やスポーツ並びに教育プログラムの成果
- (4) 高校授業料無償化が進む中で私立高校に対する取組
- (5) これまでの成果の検証並びに教育の質と魅力向上への取組

22 I C T 環境整備事業について

- (1) I C T 環境整備事業の事業内容
- (2) 次世代校務支援システムについて
 - ① 現行の校務支援システム導入の経緯
 - ② 現行のシステムと次世代校務支援システムの違い
 - ③ 次世代校務支援システムの導入により期待される効果
 - ④ 導入にかかる経費と今後のスケジュール

23 部活動地域展開検討事業について

- (1) 令和7年度の鹿児島県学校部活動地域連携等推進協議会の開催状況と主な意見
- (2) 7年度のモデル事業の内容と成果
- (3) 8年度事業概要

24 学校給食費の公会計化並びに抜本的な負担軽減について

(1) 学校給食費の公会計化について

- ① 公会計化を進める目的
- ② センター方式、自校方式はそれぞれどのような取扱いとなるか
- ③ 学校現場の事務負担は軽減されるものか
- ④ 行政サイドの事務負担は軽減されるものか
- ⑤ 全校公会計化の中長期的な展望

(2) 学校給食の抜本的な負担軽減について

- ① 抜本的な負担軽減の概要並びにメリット・デメリット
- ② 学校給食法との関係
- ③ 国が示す児童1人当たり月額5,200円の考え方
- ④ 保護者負担の考え方
- ⑤ 基準月額を超えた場合の対応
- ⑥ 財源について自治体負担の考え方
- ⑦ 抜本的な負担軽減後の中学校給食費の在り方についてどう考えるか
- ⑧ 財源が将来的に維持されなかった場合の対応